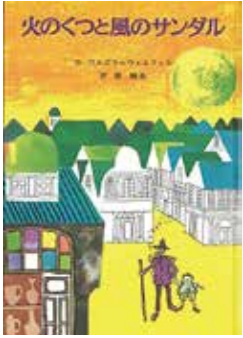


本をたのしむ。 という毎日を

生活に読書を取り入れる方法やポイント、これから読書を始めの人に
おすすめの一冊、図書館が行っているサービスについて、司書の内藤真
由美さん、田内直子さん、加藤直子さんの3人にお話を伺いました。



加藤さんおすすめの、ウルズラ・ウェルフェル著、関橋生訳『火のくつと風のサンダル』、出版：童話館出版



田内さん一押し、パオロ・ジョルダーノ著、飯田亮介訳『コロナの時代の僕ら』、出版：早川書房



内藤さんおすすめの本、田牧大和著『鯖猫長屋ふしぎ草紙』、出版：PHP 研究所

読書習慣を身に付けよう

【内藤】 新型コロナウイルスの影響による休館を経験してから数カ月が経ちましたが、来館者が徐々に戻り始めて嬉しそうです。

【田内】 そうですね。ただ、年々入館者数・貸出冊数は減少しているのが、市民の皆さんには今以上に図書館を利用して、読書を楽しんでいただきたいです。

【加藤】 仕事や子育てで読書時間が確保できないためか、働いている人の読書率は特に低く感じますね。

【田内】 もしお子さんがいるのであれば、読み聞かせを通して絵本を読んだり、少しでも本に触れてほしいですね。大人でも楽しめる児童図書ってたくさんありますし、読書習慣を身に付けることにも繋がると思います。

【加藤】 私は好きなアニメやドラマの原作を読むことをおすすめします。自分の好きな作品であれば、それだけで読書に対するモチベーションは上がります。私は『赤毛のアン』が好きで、気になって原作を読み始めるうちに自然と読書習慣が身に付いていました。

【内藤】 皆さん読書と聞くと身構えてしまう人が多いので、読書に対するハードルを下げることは大切ですよ。あまり一冊の本に固執せず、内容がいまひとつと感じた場合は、どんだん次の本を読む心がけも良いと思います。

【田内】 図書館では読書を身近に感じ【加藤】 市民の皆さんにより多くの本を手にとってもらうために始めた、市内2つの図書館と各地区センター図書室、自動車文庫を繋ぐTSUNAGARU Projectのおかげで、本を借りる環境はかなり充実してきましたね。

【田内】 来年には自宅や職場にいても本を借りられる、電子図書館というサービスもスタートします。貸出期限が来たら自動返却になる機能もあるので、返却の手間も省けて、より多くの人に読書を楽しんでもらえると思います。

【内藤】 自分に合った本を見つけるための相談に応じるレファレンスサービスを多くの人に利用していただきたいですね。読みたい本がはっきりといていなくても、会話の中から皆さんが求めるテーマに合った一冊を導き出せるよう努めていますので、気軽に声をかけて下さい。今後も皆さんの期待に応えられるように、レファレンスサービスをもっと充実させていきたいです。

【加藤】 私はイベント等の開催に力を入れ、図書館の楽しさを皆さんに伝えたいです。今月からクリスマスイベント（※）が始まりますので、多くの人に足を運んでほしいですね。

【田内】 たくさんの人に図書館に来ていただき、読書を楽しんでもらえるよう、いろいろなサービスの充実を力を入れていきますので、皆さんにぜひ図書館に来てほしいです。

※クリスマスイベントの詳細は図書館ホームページをご覧ください。

てもらったため、様々なイベントを開催していることで、イベントに参加していただくことで読書に対する考え方が変わるかも知れません。

おすすめの1冊

【内藤】 私のおすすめの本は『鯖猫長屋ふしぎ草紙』です。江戸時代を舞台とした時代小説で、サバという名前の不思議な力を持った猫のお話です。一巻ずつテーマが決まっているので読みやすく、終盤に向けて伏線が回収される構成は圧巻です。猫好きにもたまらない、おすすめの1冊です。

【田内】 私の一押しは『コロナの時代の僕ら』です。感染症を科学的に考え、冷静に受け止める文章が綴られたエッセイです。日常の出来事や現象を頭の中で整理するきっかけになります。自分に余裕がない時や、悩みが絶えない時には、一度立ち止まってこの本を読むことをおすすめします。

【加藤】 私がおすすめするのは『火のくつと風のサンダル』です。これは児童図書なのですが、ぜひ親子で読んでもらいたいですね。チムという子供がお父さんとの旅を通して自分のコンプレックスと向き合うお話なのですが、作中のお父さんの言葉には大人も心を打たれます。少々古い書籍ですが、読み終わった後には、親子それぞれが何か特別なものが得られる、そんな作品です。ぜひ親子一緒に楽しんで下さい。

本を借りる時は、インターネット予約が便利です

市立図書館で所蔵している本(視聴覚資料を含む)の貸出予約をインターネットを通じて行うことができます。予約した本はカウンターで受け取ることができるので、図書館で本を探す時間が確保できない人に、特におすすめのサービスです。



図書館カウンターにて図書カードを作成し、パスワードを登録



図書館ホームページ又は図書館OPAC 端末からメールアドレスを登録



専用フォームから借りたい図書を予約



取り置きメールが届いたら、近くの図書館(室)にて本を受け取る

気軽に本を楽しもう

今回の特集では、生活の中に読書を取り入れる方法やポイント等を紹介しました。「子供にどんな本を読ませたら良いかわからない」「忙しくてなかなか読書の時間が確保できない」という人には、子育てに読書を取り入れるタイミングやおすすめの書、各種図書サービス等、専門家や図書館職員の言葉の中に読書習慣を身に付けるためのヒントとなるものがあつたのではないのでしょうか。

読書離れが進んでいるといわれる現代では「読書」というと堅苦しいイメージを持たれがちです。しかし、本来は音楽鑑賞やスポーツ観戦等と同じ様に、気軽に楽しく始められるものです。まずは本と気軽に触れ合うことが、これまでの読書に対するイメージが変わるきっかけになると思います。

気になる音楽を一曲聞いてみるように、まずは一冊、本を手にとってみてはいかがでしょうか。

市立図書館

☎055-952-1234



市立図書館ホームページ



右から内藤真由美さん、田内直子さん、加藤直子さん

